

## 令和7年度JA能美「ちゃぐりん感想文コンクール」最優秀賞作品

### ちゃぐりんを読んで知った お米の裏側にある努力と協力

能美市立宮竹小学校 5年 岩多鈴羽

最初は、どんな本なのか全然わからなかつたけど、読んでいくうちにたくさん面白いことがあつたし、たくさん勉強になることもありました。

中でも印象に残つたのは、「ニッポン！はらぺこ道場」の田んぼの生き物の調査の話です。このお話で、田んぼには見たことないいろんな虫がたくさんいるんだなと言うことが分かつたし、今まででは、田んぼはただのお米を育てている場所だと思っていたけど、たくさんの命がかかわっているということも分かつたので良かったです。あと、「お米を育てているのは農家さんだけじゃなくて田んぼに住む生き物たちも一緒にお米を育てている」ということにびっくりしまして、自然ってすごいなと言う気持ちになりました。

もう一つ印象に残つてゐるお話は、「みんなのお仕事取材班」で紹介されていた、JA職員さんたちの仕事のお話です。このお話で、JA営農指導員の人の仕事は農家さんの相談相手になることということを今まで、なんにも知らなかつたしJA営農指導員という言葉も聞いたことがなかつたので知れて良かったです。それに、スーパーで食べ物を買うときにその商品がどうやって、やってきたのかを考えたことがなかつたので、この話を読んで、農家の人たちやJAの人たちが協力して野菜やお米がちゃんとお店に届くようにながんばっているということも知れたので良かったです。薬を使う時期を考えたり、出荷の準備をしたりする仕事は、とっても大変そうだけど、とても大切な仕事だなと感じました。

この本を読んで、ふだん食べているごはんの裏には、たくさん人の努力や自然の力があることが改めて分かつたので良かったです。これからは、食べ物をもっと大切にしたいし自然の中にいる生き物にも、もっと目を向けたいです。

そして、私のじいじは田んぼでお米を作つてゐるけど、あまり手伝つたりしたことはなかつたので、これからはたくさん手伝いとかをして農家の大変さもたくさん知りたいという気持ちになりました。